

令和3年2月26日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



# 東希小だより 3月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

..... 春、卒業 .....

校長 村上 雅基



春を思わせる暖かい日が続くようになりました。校庭の梅の花もほころび、春のお訪れを感じさせてくれます。俗に「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と言われますが、「正月から三月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを、調子よくいったもの」といわれます。季節の移ろいや、月日の経つのも早く感じられる今日この頃です。

2月26日には、「歌のつどい」が開催されました。緊急事態宣言が発令され、さまざまな教育活動の方法に制限がかかった中で、実現可能か、職員の中でも議論がありました。その結果、毎年のレベルまではいかないとしても、出来る範囲、内容で開催することとしました。マスクをしたままの歌の練習、なれない電子鍵盤の活用など、心配事が数多くありました。しかし、徐々に練習が進むうちに、各学級、各学年から暖かい音色、ハーモニーが聴こえてくるようになり、本番はとても素敵な演奏が繰り広げられました。

スローガン「50周年今だからこそ残したい新たな音色」、実現できたのではないのでしょうか。

2月18日、19日には、6年生の修学旅行がありました。規模はかなり縮小されましたが、一日目の放課後のレクリエーションや、バスでの横浜夜景見学、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルでの宿泊など、通常とは違うこの時期だからこそ実現できた内容も小学校時代の思い出の1ページになるだろうと感じています。

今月、3月19日は、卒業証書授与式です。6年生は、これまでの6年間、素晴らしい成長を遂げました。東希小からの旅立ち、素敵な卒業証書授与式になるように、職員一同しっかり準備してまいります。